

令和3年度第1回小牧市立図書館選書委員会会議録

1 開催日時 令和3年6月25日（金）午後3時30分～午後4時45分

2 開催場所 小牧市中央図書館 1階イベントスペース

3 出席委員 委員長 松永 恒二
副委員長 丸山 真由美
委員 下尾 由子
" 櫻井 郁代
" 前田 真理子
" 後藤 千津子

事務局 山田主幹
花里係長
波多野主査
兼岩

傍聴者 1名

4 議題 (1) 委員長・副委員長選出について
(2) 選書について
(3) その他

5 会議資料 選書資料

6 議事内容

(1) 委員長・副委員長選出について

【事務局】

委員長・副委員長の選出について どなたか立候補・ご推薦があればお願いいたします。

【櫻井委員】

委員長には、現職の小牧原小学校の校長であり、知識や経験豊かな松永委員に、副委員長には前期にひきつづき、会の進行等にもご経験のある丸山委員を推薦したいと思います。いかがでしょうか。

— 異議なし —

【事務局】

異議がありませんので、松永委員長、丸山副委員長 よろしく申し上げます。

(2) 選書について

選書資料1 『世紀用語事典 分析・資料・文献』について

【松永委員長】

選書資料1について、各委員よりご意見をお願いします。

【下尾委員】

どういう人に読まれるのか、よくわかりませんでした。保留といたします。

【前田委員】

保留としました。テンポの速い世のなかで、ある用語を知りたいと思ったときに（こういう本を）みるのだろうと思うのですが、今の時代に、とも思い、保留としました。

【後藤委員】

読みにくかったので保留といたします。

【櫻井委員】

私も保留としました。この本の良さというか、どういう人を対象にしているのかわからなかったのです。

【丸山副委員長】

私は可にしました。入門書的な役割があるように思いました。知っている単語を読むとわかりやすく解説してあり、なるほどと感じました。半面、説明が足りないものもありましたが、中学生などが調べものをするときネット検索では偏りなどがありますが、この本の解説は信頼できると思えたことと、(図書館蔵書の)検索結果をみると、意外と類書が少ないので1冊あってもいいのではないかと思いました。

【松永委員長】

私は保留にしました。櫻井委員と同じで、この本をどういう子たちが手にするのかイメージできませんでした。社会の勉強で時代などを調べたいときに、相場的に書かれているこういった本から読み解こうという動機づけにはならないのではないかと感じました。ネットでいいのでは、とってしまったので。

購入可が1名、保留が5名のため事務局判断といたします。

選書資料2 『化石 古生物の世界』について

【松永委員長】

選書資料2について、各委員よりご意見をお願いします。

【前田委員】

私は可にしました。比較的古い時代の生物については、子供たちにもあまり詳しく教えることはなかったのですが、この本は、海の中、魚、陸、鳥へとまとまりで示してあってとても分かりやすかったことと、例えば、顎の発達という項に注目し、流れを引き寄せ解説してあるので、こういった本で学ぶことは、目で見て理解できて、解説もあって、写真も多くとても良いと思いました。

【後藤委員】

可としました。手に取った途端ぐっと引き込まれる写真や文字の大きさに、子供も興味を持って読むことができるだろうと思いました。

【櫻井委員】

私も可にしました。語り口がフレンドリーで読み物としても面白く、専門的な記述もあるので、幅広い層の人に手に取ってもらえるのではないのでしょうか。イラストと写真と文章がマッチしているとも思いました。

【丸山副委員長】

可にしました。9,680円という価格に対して、充実した内容とボリュームと思います。中国の奥深さを感じました。写真とイラストもすごく迫力があって、よい本だと思います。

【松永委員長】

私も可としました。書きぶりに味があり、面白い本だと感じました。

【下尾委員】

私も可にしました。価格もリーズナブルです。写真や説明も多くて読みやすく、親子の対話も広がるのではないかと思います。

【松永委員長】

全員一致で購入可といたします。

選書資料3 『住まいの百科事典』について

【松永委員長】

選書資料3について、各委員よりご意見をお願いします。

【後藤委員】

私は可にしました。読みにくい本ですし高額なので個人では買えませんが、日本家政学会がまとめている本なので、図書館にあれば参考にしたい人もいるのではないのでしょうか。一部の人しか読まない気はしますが、価格が高いからこそ図書館にあってほしい本だと思います。

【櫻井委員】

私も可としました。「ハザードマップ」や「SDGs」といった今日的な課題に触れつつも、時代的なことも振り返ることができる幅広い内容が盛り込まれていると思いました。

【丸山副委員長】

私は迷いましたが保留としました。材木の種類や地域別の住宅といったことから、地区計画やまちづくり、街の整備方法等まで広く取り上げているのがなかなか面白いと思いました。住まいに関する本は人気があり、よく借りられているとは思いますが、保留とします。

【松永委員長】

私も保留としました。価格面で躊躇していましたが、後藤委員のご意見を伺い、こういう考え方もあるのだなと感じました。

内容面では、数年後に手にしたときにここに書かれていることが果たしてスタンダードであるかどうか。今ならよいが、数年後の価値観を考えると必然性はないのではないかと感じたので、保留としました。

【下尾委員】

私は可にしました。装丁として京都の「伊根の舟屋」の写真が使っており、百科事典らしくなくてちょっと珍しいと思いましたのと、編集者のほとんどが女性のせいかな柔らかな感じを受け、読んでみたいと思いました。

【前田委員】

私は可と保留で迷いました。誰が借りるか考えると、専門的な記述ばかりでもなく教育的な面もあったりして、迷いました。また、下尾委員のご意見にあったように百科事典らしくない見た目には非常に惹かれましたし、手に取って読んでみたい気もします。これからどんな風に読まれていくのかを考えると、保留にしようと思います。

【松永委員長】

購入可3名、保留3名、ということで事務局判断をお願いします。

選書資料4 『現代語訳茶道四祖伝書』について

【松永委員長】

選書資料4について、各委員よりご意見をお願いします。

【櫻井委員】

迷いましたが保留とさせていただきます。利休の嫌いな花等の記録もあり、読み物として面白いとは思いましたが、「茶の湯」に取り組んでいる方は一定数いるとはいえ、そのどれだけの方がこういった本で研究、追及されるかと考えると判断に悩みました。

【丸山副委員長】

私は可としました。茶道は詳しくないのですが、この本は(茶人の)人間らしさが感じられて読み物として面白く、もっと読み進めたいと思いました。写真やイラストがないため(作中に)入りにくいけれど引き込まれます。検索結果をみても人気のある分野ですし、巣ごもり時間が増えて興味を持たれる方も増すのではないかという観点からも購入したいと思いました。

【松永委員長】

私も可とさせていただきます。非常に興味深い資料です。登場人物たちが送った手紙から感じた臨場感というか、この本でしか手に入らないようなエピソードがあるのが良いと思いました。

【下尾委員】

可としました。手垢がつけばもっと値打ちが上がりそうな装丁ですね。作法から始まるお茶の道を究めた人がもう一度、作法とは、茶道とは何かと究めるためにある本だと思いました。

【前田委員】

保留にしようか迷いましたが可とします。この本は、何年経っても変わらなく、事実を事実として語り継いでいくのだろうと思いました。茶道に興味がある人にも、また、そうでない人でも手に取って読んでいただける本ではないかと感じました。

【後藤委員】

保留です。原文と現代語訳が(重ねて書かれて)あって、そこにすごく興味を惹かれましたが、著者が書いた解説が難解で分かりにくかったので保留としました。

【松永委員長】

購入可が4名、保留が2名ですので、購入をお願いします。

選書資料5 『江戸川乱歩大事典』について

【松永委員長】

選書資料5について、各委員よりご意見をお願いします。

【丸山副委員長】

可にしました。まず、年表があるのが良いと思いました。乱歩作品が大好きだった子供の頃がよみがえりました。こうやって、時代と作品がリンクする仕掛けがあるのは良いと思います。名の知れた大人時代の記録のほかにも、「江戸川乱歩」になる前の、名古屋に住んでいた少年時代の話などもあって読み物として読んでいて面白く感じました。

【松永委員長】

私も可にいたしました。子供時代、小牧の図書館で初めて借りたのが江戸川乱歩の『少年探偵団』だったことを思い出しました。今の子供たちには響かなくても、私たちの世代ならすぐ手に取ると思います。

【下尾委員】

私は保留にしました。この本をみて、あらためて、江戸川乱歩という作家はすごい人なのだと感じました。たくさんの方が乱歩について書き記していて、それがこのような1冊になることにただただ感服します。とはいえ、読み物としてはどうかとも感じましたので、保留にいたしました。

【前田委員】

可としました。はじめから物語として読むという使い方もできれば、時代背景や人とのつながり、関係性を読み、知っていくこともできる。こういった形の本はなかなかないのではないかと思います、可にしました。

【後藤委員】

可です。文字が小さくて読みにくくはありますが、様々な考えが書かれていて専門的な事に興味のある方にとっては宝の山のような本ではないかと思いました。

【櫻井委員】

私は保留としました。江戸川乱歩は大好きな作家ですが、他の作家を研究したい方にも、辞典やこの本のような研究資料を提供できるものがどのくらいあるのか、蔵書のバランスが気になりました。

もし、乱歩に関する本が少ないのであれば、1冊あれば素敵な資料だと思いますし、他の作家関連の本と比較して判断することができなかつたので保留とさせていただきます。

【松永委員長】

購入可が4名、保留が2名ですので、購入といたします。

選書資料6 『戎光祥城郭叢書1 織田・豊臣城郭の構造と展開』について

【松永委員長】

選書資料6について、各委員よりご意見をお願いします。

【松永委員長】

私は可としました。信長のコーナーがあるこの図書館ならば置いておくべき本かと思いました。

【下尾委員】

可にしました。小牧山の発掘調査も進んでいます。小牧の図書館に、小牧山と関係のあるこの本がないのは不自然と思ひ、ぜひ置いてほしいと思ひました。

【前田委員】

可にしました。お城に関心を持たれる方が多い今のご時世を汲んだ、非常にタイムリーな本だと思ひました。小牧山城に関する講演会では、大勢の方が参加されていて関心の高さに驚きましたし、そういった意味でも小牧の図書館の蔵書としてあったらよいと思ひました。

【後藤委員】

可にしました。小牧の図書館の特徴として、いろいろな角度からみた本がたくさん（信長の）コーナーに並んでいたら、他の市からも利用者が来てくれるのではないかと思ひました。

【櫻井委員】

私も可にしました。小牧山の麓にある図書館の蔵書を豊かにするのはとても素敵なことだと思ひし、信長の石垣導入の地と言われる小牧山についての資料がたくさんあることは重要な事だとも思ひましたので可としました。

【丸山副委員長】

私も可とさせていただきました。図書館は地域の歴史資料を収集する機能があると思ひます。金額も安いので上下巻購入してもよいと思ひます。

【松永委員長】

全員一致で購入可といたします。

（3） その他

【事務局】

事務局より、雑誌について報告させていただきます。

令和2年度第2回選書委員会において、中央図書館の開館にあたり、新規雑誌の検討を事務局判断とさせていただくことをお認めいただきました雑誌について、ご報告をさせていただきます。

前回の選書委員会は、令和2年12月に開催しましたので、約半年経過しており、前回報告しました雑誌の他に、新たに休廃刊した雑誌もございました。

新規雑誌については、利用者からの要望や雑誌ジャンルが偏らないようバランスを鑑みながら事務局で検討し、その結果を各館・各図書室ごとに別紙にまとめましたのでご覧ください。

また、所蔵雑誌一覧についても、各館・各図書室ごとにリストとして提供しておりますので、

併せてご覧ください。

なお、雑誌リストについては、一般の方も閲覧できるよう図書館のホームページに掲載しております。委員の皆様もお時間がございましたら、図書館ホームページをご覧くださいけると幸いです。

報告事項は、以上となります。

【松永委員長】

その他、ご質問、連絡事項等はありませんか。

ご質問等ないようですので、事務局へお返しします。

【事務局】

ありがとうございました。

委員の皆様におかれましては、長時間に亘りご協議いただき、誠にありがとうございました。第2回目の選書委員会は11月頃を予定しております。よろしく願いいたします。

これをもちまして、令和3年度第1回小牧市立図書館選書委員会を終了いたします。

本日はお忙しい中、ありがとうございました。